



国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業

平成28年度要求額
7百万円（新規）

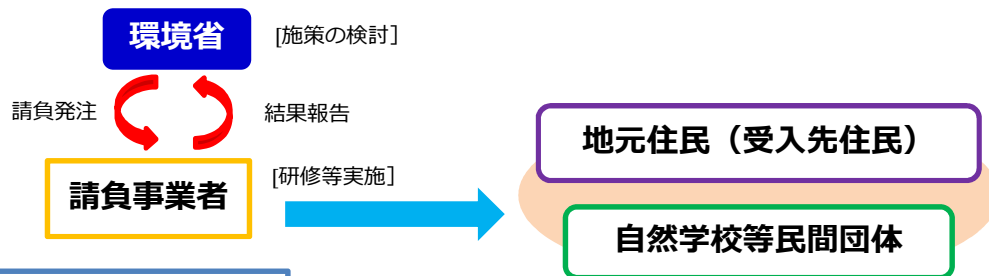
背景・目的

- ・人々の生活が便利になる一方、人と自然や社会とのつながりを実感することが難しい近年の状況。
- ・自然豊かな農山漁村に滞在することを通じ、自然保護の大切さや自然との付き合い方を学び、豊かな人間性が形成されることを目的に「学校教育等における子ども滞在型農山漁村体験教育の推進に関する法律（案）」の制定に向けた動きがあり、環境省としても対応が必要。

事業概要

- ・子ども滞在型農山漁村体験教育の受入側となる農山漁村地域や自然学校向けに自然体験プログラムの先進事例や事故事例等を題材とした研修、地域協議会等多様な主体との連携の中心となるコーディネーターの育成。
- ・既存安全対策マニュアルの改訂

事業スキーム



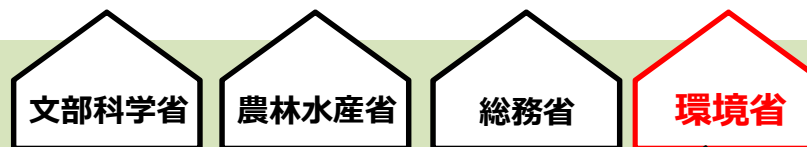
期待される効果

- ・地域の自然環境や国立公園への理解や訪問意識が高まり、定期的に国立公園等自然公園を訪れる利用者の確保
- ・子ども自然体験活動の受入に伴う、交流人口の増加・安定、地域活性化
- ・子どもの生きる力、豊かな人間性の形成

事業目的・概要等

イメージ

学校教育等における子ども滞在型農山漁村体験教育の推進に関する法律（案）



- ・地元住民、自然学校等受入側向けの自然体験プログラムに関する研修
- ・既存地域協議会や民間団体等、多様な主体の連携の中心となるコーディネーターの育成
- ・既存安全対策マニュアルの改訂



- ・国立公園等における子どもの自然体験活動の推進体制の強化及び受入体制の強化

